



## 本日のプログラム

2021年2月17日(水)

通算第2959回例会

本年度第26回

### WEB例会

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・出席状況
- ・幹事報告
- ・卓話 江坂 正光君  
演題…「年男の卓話」



## 前回例会記録

2021年2月10日 第2958回例会

### WEB例会

- ・出席率 WEB視聴 55名中 38名  
出席率 69.09%
- ・卓話 戸田 由久君  
演題…「年男の卓話」

## 報告事項

ロータリー文庫より、緊急事態宣言延長にともない事務局員在宅勤務のため、3月5日(金)まで閉館のご連絡がありました。

メールにてご連絡をお願いしますとのことです。

[rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp](mailto:rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp)

### 【60周年実行委員会より】

- ① 60周年の記念講演の再収録した映像をホームページにアップしました。
- ② 60周年記念誌が完成しました。通常例会再会時に配布いたします。

### 下記の例会はWEB例会とします

第2960回 2月24日

第2961回 3月03日



## 第2958回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さんこんにちは本日は瀬戸ロータリークラブ第2958回の例会です。本日もウェブの例会とさせていただきます。

さて2月はRIの月間といたしまして平和構築と紛争予防月間ということで先週はロータリー平和センターのお話をさせていただきました。本日も平和にちなんでノーベル平和賞についてお話をさせていただきます。

ノーベル賞は皆さんもご存知の通りアルフレッド・ノーベルがダイナマイトを発明し、莫大なパテント料が入るわけですが、遺言として「このお金を世界中の研究者のために使ってください」ということで設けられたものです。スウェーデンのストックホルムで授賞式が行われます。物理学賞、医学・生理学賞、化学賞、文学賞と最近できた経済学賞の5つが表彰されます。

ノーベル平和賞だけはノルウェーのオスロで授賞式が行われます。この意味は、ノーベル平和賞は長い間ノルウェーとスウェーデンの両国で紛争があり、その両国の和解と平和を祈念して設けられたものだからです。したがってこれは最終的にはノルウェー国会の承認で決まります。スウェーデンの5つの表彰は、長い時間をかけて業績を調べそれが人類に及ぼす成果を調べた上で決定しますので間違いは無いわけです。一方ノーベル平和賞に関しては現在進行形の

個人団体、組織を表彰するものですから、時々受賞時とその後の評価が変わることがあり物議を醸し出すことが度々あります。

2019年度の受賞者はエチオピアのアビ首相でした。首相就任から2年も経っていないのに長い間紛争を続けていた隣国との和解に成功しましたのでそれが評価をされて受賞しました。しかしほどなく他の部族との紛争が起こり、ここに空爆を加えて死者を出しました。ノーベル平和財団が早く平和裏に解決するよう異例のコメントを出しました。受賞が早すぎたとの批評を受けたわけです。そのほかアウンサンスーチー、アラファト議長、金大中等、受賞後に評価が大きく変わる事があります。因みに2020年度受賞は国際連合のWFP(世界食糧計画)です。今世界中のコロナ禍の中、ロータリーもいろいろな奉仕活動が停滞や中止を余儀なくされています。このWFPは世界中でトラック5600台、30隻の船、100機の飛行機を持ち、独自の輸送ルートを確認しているといわれています。これによって他の組織・団体からの援助が受けられない中、世界中の貧困地域に食料を届けた事が評価されたわけです。はたして今年度の受賞は誰になるのでしょうか。今日の会長挨拶とさせていただきます。

## 戸田 由久君 「年男の卓話」



皆さん、こんにちは。今日は年男の卓話ということで、このような機会を与えていただきまして本当にありがとうございます。

還暦と言いますと赤いちゃんちゃんこで、ネットで調べてみました。もう一回赤ちゃんに返るといふことで、もしかしたら次の人生のスタートに向かってリスタートできる年なのかなあ、と勝手に解釈し、これからの人生を有意義なものにしていきたいと自分の中で思っています。今日は皆様方にどんな話をさせていたただこうかと思いましたが、議会のお話とコロナウイルスに対しての瀬戸市の状況を報告のあったベースでお話し終わりにさせていただきます。

私が初当選したのは45歳の時でした。家業をしながら議員をしていくということで、最初は甘く考えておりましたがそんな甘くはありませんで、比率にしますと家業が1、議員が9という形で4期目をさせていただいております。私が初当選をした頃は議会改革というキーワードが全国的に叫ばれており、2000年代に地方制度改革が行われたのですが、実は遅々として改革が進まず、全国議長会を中心にこれから地方分権の時代になっていくのでその権限に応じた議会活動ができるように頑張ってください、というような時でありました。その中で全国的に有名でしたのが、北海道の栗山町、福島県の会津若松、三重県議会などで先進的に改革を進めているということでした。瀬戸市も私が議長を仰せつかった時に全国のデータバンクの日経グローバル社が色々な業種、業態にランキングを付けており、その中の一つに議会改革度ランキングがあり、外部評価を受けながら改革をしていかないと議会のスタンダードがわからないということで設定されたのだと思います。大体当時全国850～60の地方自治体がエントリーをしており、瀬戸市は780番台で非常にエッーという思いをしたことを覚えています。それからこれはいかにということで本格的に改革に取り組むわけです。なかなか新しいことをやっていくということに組織は抵抗を示すもので遅々として進まないところがございました。大きく進んでいったのが議会基本条例という条例の時からで改革がどんどん進み、今やなんと昨年の日経グローバルのランキングで全国17番になり、いわゆる議会が活性化している、市民の為に頑張っているという形での評価をいただけるまでになりました。瀬戸市議会は会津若松の議会をお手本にしながら、私自身は会津に追い付け追い越せということで改革を進めました。会津が凄いと評

価されているのは議会が市民の方々と一緒になって市民が本当に必要としている政策、事業を議会が作り上げ議決して市長にやっていただくという流れができていているところからです。本来議会の役割と言うのは市民の皆さんの声を聞きながら市長の政策がそれに合致しているか確認をしながら事業のOKかダメの判断をしていくのが大きなものであって、あとは予算が適正な手順で使われているのかを確認するのも大きな役割の一つです。それより大きいのは私としては市民の皆さんが欲しているけれど市長が気付かない事業を提案していくことだと思っています。これができる議会は全国的に見てほとんど無いです。首長部局には予算編成権というお金をどこにどういう形でどういう事業にどれだけの量をつけていか、お金をどれだけ配分するかという大きな権限を市長が持っておられて議会の方はその政策がいいか悪いかの議決権を持っており、このバランスで地方自治を行っていきます。その中で本来の議会の役割ができなかったがために市民の方の中からなまけもの楽園の中で居眠りしているだけだということのような強烈なお言葉をいただきました。そのような市民の方の認識で議会不要論が全国的にはびこっている状況だったのだと思います。たかだか5、6年での改革で、今、瀬戸市民の方に実感として持ってもらえないのが実情で、これから議会の役割はどんどん市民の方に情報を出して行って、瀬戸市に住んで良かった、我々に税金の払い甲斐があると思ってもらえるようにすることが仕事だと思ひ、残された任期を一生懸命頑張ってやっていきたいと思っています。議会の議論の中で、何故こんなことをやらなきゃいけないんだ、こんなことをやって何になるんだ、というような恥ずかしくなるような所から議論を始めていったのが実際のところですが、実は私が言ってきたのは市民のためにならない改革なんてする必要が無い、市民の利益の為に議会として地方自治法に定められた議会の権能をしっかりと発揮できるような仕組みを作り、仕組みの中で議会は一生懸命仕事をする、企業経営なら当たり前のことですが、それができていなかったということが瀬戸市に関してこの5、6年の間に制度を整え、それに基づいて仕事の出来る議会になってきました。このような議会であることを皆さんにご報告したいと思っています。

そして2つ目のコロナですが、一般の方と我々の情報に大きな違いは無いと思います。厚生労働省がワクチン関係をこういう基準で行ってくださいという一定のマニュアルを出していますが、今、瀬戸市ではそれに基づいて粛々と準備を進めていまして、ヘッドクォーターになっていくのは陶生病院で、今まだ具体的には決まっていないということですが集団接種の会場をまずは数か所選定しそれに対してどういう形での接種会場を作るかを検討しています。陶生病院からワクチンを運ぶというのが温度管理など結構大変で、それについての検証もしています。あとは個別接種については医師会と連携しながら相談し進めている状況です。これは私より野田先生の方がよくご存知と思いますが、ワクチンの接種等々について対応的には他の市と遜色ない対応が進められているという認識をしています。コロナに関してもメディアの過剰な煽りということも言われていますが、本当に正しく恐れて正しく対応する、これに尽きると思っています。